

【取組内容】 授業シートの活用

事例のポイント

授業シートを使うことで、児童のつまずきに気づき、個に応じた支援につなげるとともに、児童が他者から学びを得るための手段とする。

1. 取組の内容

児童は「進行中」「完了」「質問」など選択メニューで進捗を報告する。教師は、個々の進捗を確認しながら、児童に適宜声をかけたり、支援したりする。また、児童は他者の進捗を確認することで、協働して学習したい相手を選ぶことができる。

教師は児童のまとめを価値づけし、児童は他者参照しながら、自らの学習にフィードバックできるようにする。

	名前	③	④	まとめ	
		完了	完了	・0の中でも、優先順位がある。・1位が0で2位が÷×3位が+-。	58
18		完了	完了	0の中でも優先順位がある。教科書の問題では 0 の中に引き算とわり算があって0の中でも強いほうから計算していく。	57
19		完了	完了	÷と÷が重なったら先にある÷から計算するんだと思いました 0の中でも0の中じゃなくて0のきまりはおなじだと思いました	230
20		完了	完了	0の一番に引き算があったとしても割り算のほうが強いから割り算からする。かっこがあったとしてもきまりにはかてらいからたしざんやひきざんがさきにあったとしてもわりざんやかけざんのほうがつよくなるからわりざんやかけざんからする。	151

2. 取組の成果

- 児童の進捗が即時に把握でき、状況に合わせた細やかな支援ができる。
- 一覧表示することで児童が意見交換等したい学習相手を選びやすい。
- 声に出して意思表示することが苦手な児童も質問がしやすい。